

1. 指定給水装置工事事業者指定申請書 様式第1（第4条関係）

法人の場合（様式第1 表面）

①「申請者」欄

- *名称・住所等はゴム印の使用可。
- *フリガナ記入。
- *押印は不要。

②「役員」欄

- *登記事項証明書に記載されている全ての役員を記入。
- *各役員氏名の前に、役職も記入。
- *フリガナ記入。
- *同一役員が、登記事項証明書に複数記載されている場合は、1回の記入でよい。
（例：同一役員が代表取締役・取締役の記載あり→代表取締役を記入）
- *左枠内に書ききれない場合は、右枠内に記入。

③「事業の範囲」欄

- *[管工事業]又は「給排水設備工事業」など、登記事項証明書の「目的」欄に記載されている給水装置に関する事業を記入。

表面

様式第1(第4条関係)

法人の場合

記入例

指定給水装置工事事業者指定申請書

神戸市水道事業管理者 様

登記事項証明書に記載されているとおり、
本店の名称・住所等を記入してください。
(氏名又は名称のフリガナ必須)

申請者 氏名又は名称 **株式会社 三宮水道**

住所 **神戸市中央区加納町〇-〇-〇**

代表者氏名 **代表取締役 水道 太郎**

提出日を記入してください。
令和〇年〇月〇日

押印不要

水道法第16条の2第1項の規定による指定給水装置工事事業者の指定を受けたので、同法第25条の2第1項の規定に基づき次のとおり申請します。

役員(業務を執行する社員、取締役又はこれらに準ずる者)の氏名	
氏 名	氏 名
代表取締役 水道 太郎	代表取締役から監査役まで、登記事項証明書に記載されている者全てを記入してください。 (氏名のフリガナ必須)
取締役 水道 一郎	
取締役 水道 二郎	
監査役 水道 花子	

②

事業の範囲 **管工事業**

管工事業又は給排水設備工事業など、
給水装置工事が行える法人であること。
定款及び登記事項証明書に記載されている必要があります。
("その他付帯する工事"では不可)

③

機械器具の名称、性能及び数 別表のとおり

登記事項

履歴事項全部証明書

神戸市

会社法人等番号	
名 称	
主たる事務所	神戸市
法人の公告方法	主たる事務所の公衆の見やすい場所に掲示する方法により行う。
法人成立の年月日	昭和40年8月13日
目的等	目的 (1) 水道事業に関する調査研究 (2) 住宅団地の受水装置の適正管理業務及び修繕等に関する業務 (3) 水道事業の事務、工事及び管理業務の受託 (4) 簡易水道の経営及び技術相談 (5) 国内外の水道事業の事業者への技術指導及び助言等 (6) その他この法人の目的を達成するために必要な事業
役員に関する事項	平成25年 4月 代表取締役 平成29年 6月28日重仁 平成29年 7月1日登記 平成25年 4月 代表取締役 平成29年 6月28日重仁 平成29年 7月1日登記

整理番号 4484953 * 下線のあるものは特記事項であることを示す。 1/6

裏面	
① 給水装置工事主主任技術者免状又は「給水装置工事主主任技術者証」の写しを1部添付してください。(免状番号を確認できるもの) ※給水装置工事主主任技術者に変更がある場合は、神戸市水道局配水課へ選任・解任届出書を提出する必要があります。 ②	株式会社 三宮水道 神戸市中央区加納町〇-〇-〇 給水装置工事主主任技術者 免状の交付番号 第〇〇〇〇〇〇号 第〇〇〇〇〇〇号 ③ 事業所に事業を行うとする事業所 (本社又は支店、営業所の名称・所在地を記入してください)。(神戸市内である必要や、登記されている必要はありません)
当該給水区域で給水装置工事の事業を行う事業所の名称 上記事業所の所在地 上記事業所で選任されることとなる給水装置工事主主任技術者の氏名 水道 太郎 ④	株式会社 三宮水道 明石支店 市〇〇通〇丁目〇番〇号 給水装置工事主主任技術者 免状の交付番号 第〇〇〇〇〇〇号 支店等がある場合は登録しておく。支店等でも工事申請ができます。(神戸市内である必要や登記されていない必要はありません) (1箇所までしか登録できません) 複数の事業所を指定する場合のみ記入

個人の場合（様式第1 表面）

①「申請者」欄

- *本欄は住民票のとおり記入。
- *フリガナを記入。
- *押印は不要。
- *事業所の住所が住民票と異なる場合、申請書表面は住民票の住所を記入、事業所の住所は申請書裏面に記入。

②「役員」欄

- *代表者氏名のみ記入。役職は不要。
- *フリガナを記入。

③「事業の範囲」欄

- *「管工事業」又は「給排水設備工事業」のうち、事業内容が近いものを記入。

表面

様式第1(第4条関係)

個人の場合

記入例

指定給水装置工事事業者指定申請書

神戸市水道事業管理者 様

申請者 氏名又は名称 神戸市水道設備
住所 神戸市中央区加納町〇-〇-〇
代表者氏名 水道 太郎

住民票に記載されているとおり氏名・住所等を記入してください。
(氏名又は名称のフリガナ必須)

提出日を記入してください。
令和〇年〇月〇日

屋号がある場合は、屋号を記入してください。

押印不要

水道法第16条の2第1項の規定による指定給水装置工事事業者の指定を受けたいので、同法第25条の2第1項の規定に基づき次のとおり申請します。

役員(業務を執行する社員、取締役又はこれらに準ずる者)の氏名	
氏 名	氏 名
水道 太郎	

本人の氏名のみ記入してください。
(氏名のフリガナ必須)

事業の範囲

管工事業

「管工事業」又は「給排水設備工事業」と記入してください。

機械器具の名称、性能及び数 別表のとおり

個人の場合（様式第1 裏面）

①「事業者・事業所在地」欄

- *給水装置工事を行っている事業所(名称・所在地)記入。
- *事業所は神戸市内に設置及び登記されている必要はありません。

②「主任技術者」欄

- *主任技術者の氏名を記入。
- *フリガナを記入。
- *「主任技術者免状」又は「主任技術者証」の写しを1部添付してください。
- *主任技術者の変更がある場合は、神戸市水道局に変更届(選任・解任)を提出。

③「主任技術者免状の交付番号」欄

- *主任技術者免状の交付番号を記入。

裏面

当該給水区域で給水装置工事の事業を行う事業所の名称 神戸市水道設備

上記事業所の所在地 神戸市中央区加納町〇-〇-〇

上記事業所で選任されることとなる給水装置工事主任技術者の氏名 給水装置工事主任技術者 〇〇〇〇〇〇号

主任技術者のフリガナ 〇〇〇〇〇〇号

「給水装置工事主任技術者免状」又は「給水装置工事主任技術者証」の写しを1部添付してください。(免状番号を確認できるもの)

※給水装置工事主任技術者に変更がある場合は、神戸市水道局配水課へ選任・解任届出書を提出する必要があります。

実際に事業を行うとする事業所(本社又は支店、営業所)の名称・所在地を記入してください。
(自宅でも可、神戸市内である必要はありません)

当該給水区域で給水装置工事の事業を行う事業所の名称

上記事業所の所在地

複数事業所を指定する場合のみ記入

給水装置工事主任技術者免状の交付番号

2. 誓約書 様式第2（第4条関係）

①「申請者」欄

*申請書（様式第1 表面）と同じ内容を記入。

*押印は不要。

法人・個人共通

様式第2（第4条関係）

記入例

誓 約 書

指定給水装置工事事業者申請者及びその役員は、水道法第25条の3第1項第3号イからへまでのいずれにも該当しない者であることを誓約します。

提出日を記入してください。

令和〇年〇月〇日

申請者
氏名又は名称 株式会社 三宮水道
主 所 神戸市中央区加納町〇-〇-〇
代表者氏名 代表取締役 水道 太郎
押印不要

神戸市水道事業管理者 様

3. 機械器具調書（別表）

①「機械器具調書」欄

*指定を受けるには、4種類の機械器具（「管の切断用の機械器具」、「管の加工用の機械器具」、「接合用の機械器具」、「水圧テストポンプ」）を必ず自社で保有することが条件であり、下請業者や協力会社の保有は認められない。各種最低1項目の記入が必要。

法人・個人共通

別表

記入例

機 械 器 具 調 書

直近の確認日を記入してください。

令和〇年〇月〇日 現在

種 別	名 称	型 式 性 能	数 量	備 考
管の切断用の機械器具	全切りのこ	固定式鋸弦	2	
	パイプカッター	φ13～25C1	2	
	コンビカッター	φ13～25C2	2	
管の加工用の機械器具	パイプねじ切り器	SS△×△V	2	
	寸すり	中目	2	
接合用の機械器具	パイプレンチ	△〇△	2	
	シーチランプ	AB×△×1	2	
	シンキーレンチ	M50BC	2	
水圧テストポンプ	電動水圧テストポンプ	MMX・T-50K2	2	

種別の欄には、
・「管の切断用の機械器具」
・「管の加工用の機械器具」
・「接合用の機械器具」
・「水圧テストポンプ」
の4種類を記入してください。
4種類全ての記入が必要です。

名称、型式性能、数量を記入してください。
※記載例は参考ですので、これ以外のものでも構いません。

(注) 種別の欄には「管の切断用の機械器具」、「管の加工用の機械器具」、「接合用の機械器具」、「水圧テストポンプ」の別を記入すること。

3. 「給水装置工事主任技術者等の研修会」（外部研修や自社内研修）の受講実績

※過去5年以内に受講・実施したものについて記載してください。
※表面2. 「指定給水装置工事事業者講習会（日本水道協会兵庫県支部主催）」の受講実績ではありません。

(1) 外部研修

受講実績 有 ☒（以下に詳細を記入のうえ、受講証の写し等を提出してください。）
無 ☐

主任技術者名	研修会名、実施団体	受講年月日
	例) 給水工事技術振興財団 給水装置工事主任技術者研修(e ラーニング)	
神戸 太郎	給水工事技術振興財団 給水装置工事主任技術者研修(e ラーニング)	令和〇年△月×日

(2) 自社内研修

受講実績 有 ☒（以下に詳細を記入してください。）
無 ☐

受講者名	研修内容	実施年月日
水道 次郎	〇〇に関する業務研修	令和〇年△月×日

※「給水装置工事主任技術者等の研修会」（外部研修や自社内研修）の受講実績は、公表しません。

4 過去1年以内の給水装置工事に主に従事した適切に作業を行うことができる技能を

有する者の状況（※過去1年以内の工事实績がない場合は、直近の状況を記載してください。）

※表面1. 事業者情報 (6)対応工事種別において、「配水管からの分岐～水道メーター」を選択された場合、記入が必要です。

保有している資格を記入（記載内容は下線青枠を参照）

技能を有する者の 氏名	配水管への分水栓の取 付・せん孔、給水管の接 合、いずれの経験も有し ているか（○×を記入）	資格等を有しているか（○×を記入）		工事 年度
			保有している資格等 ※	
神戸 太郎	○	○	配管技能士	R○
水道 次郎	○	○	検定会合格者	R○
給水 三郎	○	×		H○

※ 以下に示す保有資格等（下線部）を記載してください。

- 水道事業者等によって行われた試験や講習により、資格を与えられた配管工（配管技能者、その他類似の名称のものを含む）
- 職業能力開発促進法第44条に規定する配管技能士
- 職業能力開発促進法第24条に規定する都道府県の認定を受けた職業訓練校の配管科の課程修了者
- 公益財団法人給水工事技術振興財団が実施する配管技能の習得に係る講習の課程修了者（配管技能者講習会修了者、配管技能検定会合格者、配管技能者認定）

※ 資格を証明する書類（資格証等）の写しを添付してください。

資格を有していなくても、経験を有していれば記入

雇用関係又は下請業者等も含み、給水装置工事に従事した者の氏名を記入

指定給水装置工事事業者 指定更新時確認事項（FAQ）

休業日・営業時間等

Q	「休業日・営業時間等」は、事業所としての内容を記入するのか？（例：事業所としては休みだが、修繕要請があれば365日対応する場合の記入について）
A	基本は事業所としての休業日・営業時間等を記入し、営業時間外でも対応可能な場合は、その他にチェックを入れ、カッコ内に記入する。

指定給水装置工事事業者講習会と主任技術者研修

Q	指定給水装置工事事業者講習会と主任技術者研修との違いは？
A	「指定給水装置工事事業者講習会」とは、水道事業者が実施する工事事業者（会社・店）を対象とした講習会。各会社・店の代表者（自社内の周知や教育を実施できる者）が受講する。 「主任技術者研修」は、外部機関や自社で実施する主任技術者個人を対象とした研修。
Q	神戸市以外が主催する指定給水装置工事事業者講習会の講習は認められるか？
A	神戸市水道局が、主催又は他都市と共催する講習会が対象となる。阪神7市1町給水装置協議会が主催の研修会は認められない。

配管技能者

Q	自社に配管技能者がいない場合は白紙で提出するのか？
A	下請け業者及び協力会社に技能者がいる場合は、その者の情報を記入し、保有資格の証明書類を添付する。
Q	下記の状況で、指定の更新はできるか？ ・適切に作業を行うことができる技能を有する者がいない。 ・適切に作業を行うことができる技能を有する者はいるが、資格は保有していない。 ・資格は保有しているが、3つすべての経験を有していない。
A	いずれの状況でも指定の更新はできる。ただし、「配水管からの分岐～水道メーター」の工事を施行する場合、適切に作業を行える技能者を従事又は監督させるよう定められているので、施行に携わる従事者については、早期に資格の取得や技能習得に努めること。
Q	10年以上工事実績がないが、工事年度はどのように記入したらよい？
A	直近に従事した年度を記入する。